

2019年度事業実績報告の概要（小規模事業経営支援事業費補助金関係）

団体名： 西尾みなみ商工会

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価																		
				目標①			目標②			得られた効果		A B C D評価				今後の展開・改善点等		備考				
巡回・窓口相談指導事業	小規模事業者を中心に、経営指導員等の商工会職員が訪問し、融資等の金融相談・申告税務相談・労務相談等の経営全般などの指導をすることで、健全な企業を育成する。このほか、創業予定者を始めとした経営全般に係る相談窓口の設置によって、経営改善に資する指導を行う。	・巡回窓口指導案件数 433件 ・巡回窓口指導延件数1166件 ・創業指導案件数 3件 ・創業指導延件数 4件 ・非会員指導案件数 51件 ・非会員指導延件数 105件 ・課題解決提案案件数 30件 ・経営革新認定件数 2件	小規模事業者	指標	巡回窓口指導延件数 (達成度 108.3 %)			指標	課題解決提案件数 (達成度 100.0 %)			事業者と積極的に接触することで課題や問題点を明確にし、解決への糸口を見つけ出し、小規模事業者の経営改善を図ることができた。コロナ対策での金融処理がスムーズに行えた。	総合評価	A	事業実施側の	自己評価	事業者への調査結果		満足度	補足	目標	さらに巡回指導を充実させていきたい。
				目標数値	1080	実績数値	1170	目標数値	30	実績数値	30					B		必要性	両方現状維持			
記帳継続指導	商工会職員が、個人事業主等を対象に正しい記帳方法の指導と決算・確定申告・消費税確定申告の指導を行い、適正な税務申告と経理の自計化や計数管理による経営力の向上に結び付ける。	記帳指導事業者数 80件 指導延日数 404日 指導延回数 871回	小規模事業者	指標	記帳指導事業者数 (達成度 100.0 %)			指標	(達成度 %)			記帳や税務に関する事務を商工会がサポートすることで、後継者育成・経営分析等の手法を得ることができると本来の経営に力を入れることができた。	総合評価	A	事業実施側の	自己評価	事業者への調査結果	満足度	補足	目標	相変わらず申告時期になると相談が多いため、その事業者たちに対し機械化へのスムーズな移行を図ってきたい。	○
				目標数値	80	実績数値	80	目標数値		実績数値						B		必要性	上げる			
講習会事業	様々な経営環境に対応するため、小規模事業者に必要な金融・税務・経理・労働・情報化等の知識の習得や、時事的な問題を周知させ、事業者の資質の向上と円滑な事業運営を図る。	・集団指導 6回 205名 ・個別指導 17回 241名 ・経営革新計画支援セミナー 1回 1名	小規模事業者	指標	講習会参加小規模事業者数 (達成度 94.7 %)			指標	(達成度 %)			講習会を通じて、小規模事業者が経営に必要な知識を身に付け、経営基盤の安定強化を図ることができた。	総合評価	A	事業実施側の	自己評価	事業者への調査結果	満足度	補足	目標	テーマによって参加者にばらつきがあったため、テーマの選択を熟考していきたい。	○
				目標数値	472	実績数値	447	目標数値		実績数値						A		必要性	上げる			
若手後継者等育成事業	商工業の後継者である青年、若手経営者及び商工業に携わる女性に対し、経営に必要な知識の修得や資質の向上を図るための講習会・研修会を開催し、小規模事業者の振興・発展を図る。	部員数 青年部 77名 女性部 43名 講演講習会・地域振興事業等 青年部 34回 女性部 21回 若手後継者セミナー 青年部 1回	青年部・女性部部員	指標	講習会地域振興事業等参加回数 (達成度 90.2 %)			指標	(達成度 %)			地域の若手後継者等とのふれあいを通じて、経営者としての刺激を得て、各種講習会を通じて若手後継者としての資質の向上を図ることができ、自身の事業所の振興・発展を図ることができた。	総合評価	A	事業実施側の	自己評価	事業者への調査結果	満足度	補足	目標	青年部の委員会を定期的なものから随時開催に変更するため低く設定。	○
				目標数値	61	実績数値	55	目標数値		実績数値						A		必要性	下げる			
祭典事業	各種のお祭り・祭典などを開催することにより、その集客力を活かして地域の産業（地域資源、観光資源）のPRを行い、地域の総合的な振興を図る。	参加事業所数 6月 仁吉まつり 94件 7月 ストーンアップ 59件 8月 盆踊りの集い 23件 11月 きらまつり 247件	地区内商工業者	指標	祭典事業参加事業所数 (達成度 117.5 %)			指標	(達成度 %)			イベントを通じて地域の活性化を図ることができたと同時に、地域住民の一体感を生み、観光資源のPRができた。	総合評価	A	事業実施側の	自己評価	事業者への調査結果	満足度	補足	目標	イベント実施により良い意味での悪あがきを行い、地域を盛り上げ活性化を図る。	○
				目標数値	360	実績数値	423	目標数値		実績数値						A		必要性	現状維持			
地域懇談会事業	これからの地域経済の振興について地域懇談会を開催し、地域の実態把握とともに、地域経済振興に向けた対応を検討するなど、地域活性化に向けた各種事業に取り組み、地域振興と地域商工業の発展に寄与する。	・西尾市、西三河地域での様々な地域懇談会に参加 4回 ・西三河地区商工会で開催する職種別会議等に参加 11回 ・その他地域ごとの問題について協議する検討会に参加 20回 ・市の地域振興事業へ参画 36回	市内及び西三河地域の商工団体等	指標	地域懇談会出席回数 (達成度 157.8 %)			指標	(達成度 %)			地域の課題などを協議する地域懇談会に積極的に参加し、情報交換を行い、広域での地域経済の発展に寄与することができた。	総合評価	A	事業実施側の	自己評価	事業者への調査結果	満足度	補足	目標	広域連携はどこの地域でも必要不可欠であり、広域経済の発展がこの地域の発展に繋がるよう連携を深めていきたい。	○
				目標数値	45	実績数値	71	目標数値		実績数値						A		必要性	上げる			
商業活性化事業	消費者ニーズの変化、郊外への購買力流出など、地元中小事業者の経営課題解決に向け、地域活性化、集客力向上のためキラット商品券発行事業や街路灯の維持管理を実施し、地元事業者の活性化、街づくりに寄与する。	キラット商品券発行事業 874,000円分発行 街路灯維持管理事業 街路灯 537本	地区内事業者	指標	キラット商品券発行目標額(円) (達成度 145.7 %)			指標	街路灯維持管理本数 (達成度 96.9 %)			街路灯事業により町の景観が整備され、安心、安全な街づくりに寄与できた。キラット商品券発行事業によりわずかではあるが地元業者に還元できた。	総合評価	A	事業実施側の	自己評価	事業者への調査結果	満足度	補足	目標	廃業者が多く地区内の事業者が減少傾向にあるため、商品券販売目標額と街路灯維持目標を低く設定。	○
				目標数値	600,000	実績数値	874,000	目標数値	554	実績数値	537					B		必要性	両方下げる			
産業団体等指導事業	各種団体等、産業振興・地域貢献団体の活動をサポートし、事業運営に協力することにより、国・地方公共団体、地域社会への貢献や発展のための一助となり、ひいては商工業の活性化に資する。	各団体の事業支援 ・西尾労働基準協会114件 ・吉良ガス協同組合 4件 ・吉良町商業協同組合36件 ・吉良平成会 48件 ・商工平成部 17件 ・吉良・幡豆まちづくり協議会 22件	左記団体の構成員	指標	左記団体の構成員数 (達成度 109.0 %)			指標	(達成度 %)			各種業界団体・地域貢献団体を支援することにより、同業種及び異業交流が商工会を通して活発に行われ、地域社会の貢献や発展の一助となり、地域の活性化に繋げることができた。	総合評価	A	事業実施側の	自己評価	事業者への調査結果	満足度	補足	目標	目的を共有化している団体事業は、参加者も多く充実した事業も行える。地域の活性化には欠かせず、今後も引き続き支援していきたい。	○
				目標数値	221	実績数値	241	目標数値		実績数値						A		必要性	現状維持			

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付しています。
 ※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。
 ※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。

2019年度事業実績報告の概要（小規模事業経営支援事業費補助金関係）

団体名： 西尾みなみ商工会

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価													
				目標①			目標②			得られた効果			A B C D評価			今後の展開・改善点等	備考
				指標	目標数値	実績数値	指標	目標数値	実績数値	総合評価	事業側評価	自己評価	調査結果	満足度	補足		
産業活性化事業	吉良地区、幡豆地区の地域資源の活用や、特産品及び観光のPRなどを行い、企業の発展や地域産業の活性化に資する。	・吉良花火大会 6日 ・ハワイアンフェス 5日 ・すみだまつり 3日 ・いらっしやい亭での観光PR（中止） ・市内・西三河管内の観光事業関連会議への出席 14日	地区内 商工業者	指標 観光PR回数・関連会議出席 延べ日数 (達成度 186.7%)	指標 (達成度 %)	得られた効果 吉良幡豆両地区の特産品や観光のPR活動を行うことで、吉良・幡豆に町外からの多くの観光客を呼び寄せることにより、地域産業のPRや活性化が図られた。	総合評価 A	事業側評価 A	自己評価 A 目標達成度 A	調査結果 事業者への	満足度 A 必要性 A	補足	目標 上げる 実施方法 現行どおり	○	特産品や観光資源など地域の特徴をPRすることは、地域活性化の基本と考え、今後も積極的に実施していきたい。		
労働保険事業	事業主に代わって労働保険料の申告納付その他労働保険に関する各種の届出等の事務手続を行うことにより、中小事業主の事務処理の負担を軽減し、労働保険の適用促進及び労働保険料の適正な徴収を図る。	・労働保険事務組合委託事業者の労働保険事務 ・労働保険事務組合委託事業者の労働保険料納付事務 (委託事業者数127件)	労働保険事務 組合西尾みな み商工会への 委託事業所	指標 委託事業所数 (達成度 99.2%)	指標 (達成度 %)	人的、時間的に制限の多い中小企業者の労働保険事務を委託し、代行することにより中小企業者の事務処理の負担を軽減するとともに、労働保険の適正な運用を図ることができた。	総合評価 A	事業側評価 A	自己評価 A 目標達成度 B	調査結果 事業者への	満足度 A 必要性 A	補足 保険事務以外の労働関係相談が多くなっている。	目標 上げる 実施方法 現行どおり	○	労働保険加入要件を理解していない事業者もかなり多く、加入推進を図り、労働保険事務委託事業の周知を実施していく。		
調査・広報事業	中小・小規模事業者関連の施策に反映するため、また、関連施策の利用を促すため、制度を中心とした広報を発行し、幅広い周知を図る。	・商工会報 年3回発行 ・情報提供 年6回	地区内商工業者	指標 商工会報等情報提供回数 (達成度 150.0%)	指標 (達成度 %)	中小・小規模事業者関連の施策やそれに関連した制度を中心とした広報を発行し、幅広い周知を図ることができた。	総合評価 A	事業側評価 A	自己評価 A 目標達成度 A	調査結果 事業者への	満足度 A 必要性 A	補足 行政や他の団体と連絡を取りながら情報提供を実施。	目標 上げる 実施方法 現行どおり	○	商工会の存在価値を上げるため、商工会事業や国県市の施策を積極的にPRしていく。		
人材育成事業	各種検定事業や人材育成に関する事業を実施することにより、優秀で地域を担っていく人材を育成、一方、慢性的な人材不足を補うため、外国人実習生受入事業の推進を図り、将来的な商工業の発展や地域の活性化を図る。	・商工会珠算検定 3回 (受験者数48名) ・各種検定事業の紹介 ・外国人実習生受入事業の推進を図り、将来的な商工業の発展や地域の活性化を図る。	地区内商工業者 及び地域住 民	指標 珠算検定受験者数 (達成度 120.0%)	指標 準備・実行委員会の開催回数 (達成度 80.0%)	珠算検定の実施で、数字に強い人材を育て、将来的な商工業や地域の活性化を図る一助となった。 外国人実習生受入を行うことで、慢性化する人材不足の解消への手掛かりがつかめた。	総合評価 A	事業側評価 A	自己評価 A 目標達成度 A	調査結果 事業者への	満足度 B 必要性 B	補足 外国人受入事業のスタートが何とかが切れた。	目標 現状維持 実施方法 ①現行どおり ②変更する	○	令和2年度より外国人受入事業がスタート。今後は斡旋を希望する企業数を目標に掲げ、受入事業のさらなる充実を図る。		
福利厚生事業	各種共済制度の普及により中小企業、小規模企業の経営・雇用の持続的な安定を図り、企業の健全な育成に資する。	中小企業共済 527件 中小企業PL保険 15件 愛知火災共済 10件 小規模企業共済 187件 セーフティ共済 12件 特定退職金共済 13件 キュービクル斡旋 4件 中小企業退職金 4件 容器リサイクル 3件 健康診断事業の実施 274名	地区内商工業者 及びその従 業員	指標 各共済加入者合計 (達成度 96.9%)	指標 健康診断受診者数 (達成度 109.6%)	商工業者に必要と思われる共済や従業員の福利厚生に役立つ共済の加入促進を行い、企業の安定的な発展を図る一助となった。	総合評価 A	事業側評価 A	自己評価 B 目標達成度 A	調査結果 事業者への	満足度 A 必要性 A	補足	目標 ①下げる②現状維持 実施方法 両方現行どおり	○	事業者の高齢化が進行しており、特に中小企業共済の脱退者や小規模企業共済の請求者が加入者を上回ることが予想される。		
税務関係団体指導事業	青色申告会・法人会等の税務支援・地域貢献団体の活動や事業運営に協力することにより、国・地方公共団体、地域社会への貢献や発展の一助となり、ひいては、商工業の活性化に資する。	・合同記帳指導会の実施 3回 ・各種団体事務支援 きはら青申会 238名 西尾法人会幡豆支部 95名 西尾法人会吉良支部 188名 ・各団体の実施する講習会、研修会事業の支援	きはら青色申告会、西尾法人会吉良幡豆支部会員	指標 青色申告会・法人会会員数 (達成度 101.0%)	指標 (達成度 %)	地域の税務支援団体のサポートを行うことにより、事業者に適正な税務申告の意識を植え付け、地域社会への貢献や発展の一助とすることができた。	総合評価 A	事業側評価 A	自己評価 A 目標達成度 A	調査結果 事業者への	満足度 A 必要性 A	補足 各団体と連携を取りながら事業実施ができた。	目標 下げる 実施方法 現行どおり	○	決算・申告指導を望む事業者と適正な税務申告を望む行政の意向を汲む意味でもこの事業は重要と考えるが、廃業者が多いため低く設定。		
部会・委員会事業	商業・工業などの各部会や小規模企業振興委員会などの部会・委員会活動を行い、部会・委員会参加企業の発展に資する。	先進地日帰り研修 1回 合同日帰り研修会 1回 小規模企業振興委員会 1回 工業委員会 2回	各部会・ 委員会 構成員	指標 各委員会等開催回数 (達成度 125.0%)	指標 (達成度 %)	部会活動を通じて同業種及び異業種間での意見交流が活発に行われ、地域社会の貢献や発展の一助となり、地域の活性化に繋げることができた。	総合評価 B	事業側評価 B	自己評価 B 目標達成度 A	調査結果 事業者への	満足度 B 必要性 B	補足 委員会事業で情報交換や会員相互の親睦も図れた。	目標 現状維持 実施方法 現行どおり	○	委員会事業で会員のニーズを把握でき、商工会事業の魅力を一層高める意味でも継続して実施していく。		
青年部・女性部事業	青年部・女性部員間での交流や社会福祉を通じて地域との関わりを持つことにより、地域社会の発展に寄与する。	・青年部例会 2回 (親睦交流事業) 参加者 55名 ・女性部例会 3回 (親睦交流事業) 参加者 50名	青年部・ 女性部 部員	指標 青年部女性部事業参加延べ 人数 (達成度 55.3%)	指標 (達成度 %)	青年部・女性部が行う交流事業や社会福祉活動を通じて地域との関わりを持つことで、部員自らの人間性を大きくすると共に地域社会の発展に寄与することができた。	総合評価 B	事業側評価 B	自己評価 B 目標達成度 C	調査結果 事業者への	満足度 A 必要性 A	補足 地域振興事業に力を入れたため事業回数が減り参加者も減少した。	目標 現状維持 実施方法 現行どおり	○	青年部・女性部事業は組織力強化はもちろん、地元住民との関わり合いの持てる事業であり、積極的に実施していきたい。		

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付しています。
 ※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。
 ※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。